

令和2年度 東京都立科学技術高等学校 学校経営計画

校長 久保 剛

1 目指す学校

【教育目標】

校訓 「英知・創造・調和」のもとに、次のような力を育てる。

- ・科学技術への興味と関心を伸ばし、創造性や問題解決能力を育てる。
- ・基礎的な知識と技能を身につけさせ、進路実現に必要な学力を育てる。
- ・人間としての在り方・生き方を深く学ばせ、規範意識や望ましい職業観・倫理観を育てる。
- ・人を理解し尊敬できるよう他者と積極的に関わらせ、責任感のある豊かな人間性を育てる。
- ・コミュニケーション能力を高め、国際社会において主体的に生きる力を育てる。

本校は、開校以来、科学技術教育を特色とする理系進学校として、生徒の科学的知識や技能を培い、国際的に活躍できる科学技術者及び日本の科学力・技術力を支える人材の育成に努めてきた。今後も、科学技術高校ならではの学習を通じて、幅広く科学技術を体験することで、科学的な思考力や表現力、課題意識等を早期に身につけさせ、大学等の専門教育への深い学びへとつなげていく。とくに単なる知識の習得に留まらせることなく、その獲得した知識・技能を効果的に活用できる能力とともに、望ましい職業観・倫理観や規範意識、社会に貢献する志を身につけさせ、希望の理系大学への進学を目指す。そのために、次の3つの力を育てる学校を目標とする。

【育成する資質・能力】

- ①新時代に生きる力（創造性、問題解決能力、広い視野・コミュニケーション能力）
- ②科学技術に関する基礎的な力（幅広い知識・技能、職業観、倫理観）
- ③理系大学進学に対応した力（基礎力、思考力、表現力）

2 中期的目標と方策

上記の教育目標、育成する資質・能力に加え、下記の中期目標を目指す。

- ・生徒のチャレンジ精神を開拓し、将来の日本の科学技術を支える人材となり得る意欲や資質を伸ばす。
- ・組織的に広報活動を工夫しその充実を図ることで、学校の教育活動や施設、生徒の様子等を広く周知し、入学選抜で第一志望に選ばれる学校となる。

以上の目標を達成するため、次の中期目標を設定し、教育内容と指導の充実を図る。

(1) 科学技術への意欲向上と基礎学力の育成

- ①スーパーサイエンスハイスクール事業で得た成果を教育活動に生かし次期指定を目指す
- ②専門科目学習を普通教科と連携させ効果的な授業を展開する
- ③報告書の作成や説明能力、プレゼンテーションスキルの指導を充実させる
- ④理数リーディング校として、生徒の意欲を高める科学技術科の特色を生かした特別活動を実施するとともに、理数に関する組織的教育活動を推進し他校等へ波及を図る
- ⑤生徒の主体性を伸ばす校外発表コンテストや外部との連携事業を推進する
- ⑥地域や小中学校と連携した科学技術啓発のための展示や実演を行う
- ⑦科学技術者・研究者に必要な倫理観や社会貢献の精神を育てる取組みを充実させる
- ⑧海外学校間国際交流校として、国際理解やグローバル意識醸成の取組みを推進する

(2) 希望する理系大学への進路実現

- ①授業時間を大切に活用するだけでなく、自宅学習等の授業時間以外での学習の質と量を充実させる
- ②2・3学年に特進クラスを置き、生徒の学力向上と進路実現に向けた意識を啓発・醸成しその実現を牽引する
- ③習熟度別授業や少人数授業を効果的に実施するとともに、自習室等を整備し生徒の学習環境を整える
- ④生徒全員の進路希望を図る最適な進路指導を実施する
- ⑤高大連携をこれまで以上に推進する
- ⑥研修等の活用により教員の指導力向上を図る
- ⑦補習や補講等を充実させ、きめ細かな指導を行う
- ⑧ICT機器を活用し、効率的・効果的な授業を推進する

(3) 責任感と主体性、協働性の育成

- ①人に対する優しさと思いやりの心、感謝の心を育てる
- ②服装等の身だしなみ指導を徹底し、挨拶の励行指導を行う
- ③朝の正門指導や保護者と連携を推進し遅刻防止指導を徹底する
- ④生徒会及び委員会活動を活性化させる
- ⑤部活動を活性化し生徒の参加率を高めるとともに、成果の向上を目指す

(4) 広報活動の充実

- ①多くの中学生や保護者等に本校の魅力ある情報を提供するために、ホームページや学校案内パンフレット等を効果的に活用する
- ②お客様意識を持ち説明会や来校者へ対応する
- ③学校案内等の本校情報誌の魅力と質を向上させる
- ④授業や部活動、文化祭など本校を体験するイベントを充実させる